

月刊島民

橋を渡る人の「街事情」マガジン



中之島

Vol.78 2015 1/1

●iPadサイズ(と、ほぼ同じ)

神さんと人。

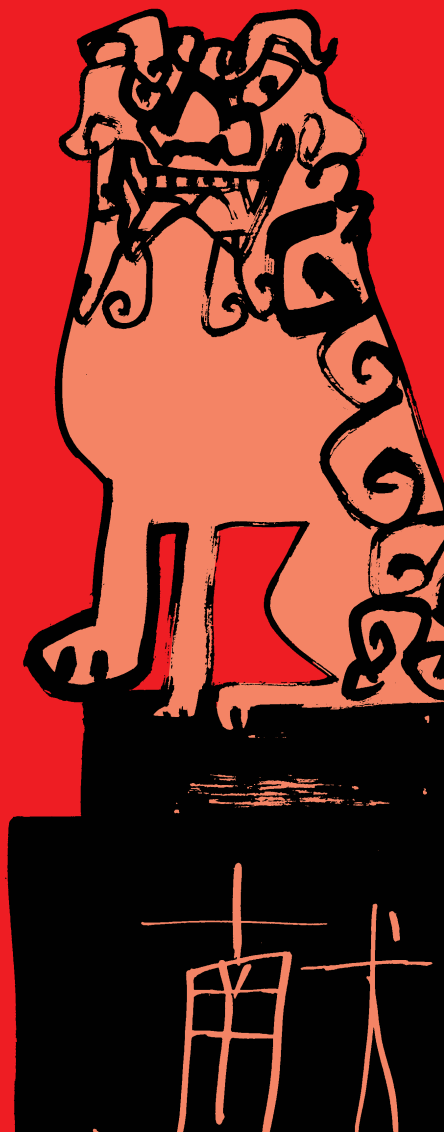


ナカノシマ大学

「街から読み解く
手塚治虫」

加藤賢一 田浦紀子 長崎励朗

申し込み受付中!



神さんとお人。

新年を迎え、初詣のために神社を訪れた人も多いはず。中之島の周辺にも神社があるが、その創建や存続の物語を紐解いてみると、時代によって変わる人々の願いや流行が、神格にも反映されてきたようだ。神社を詣でる人との関係性に注目しながら、歴史をさかのぼってみよう。

取材文／江口由夏 大迫力(本誌)

豊臣秀吉を祀った

神社が中之島にあった。

明治元年（1868）のこと、大阪に行幸された明治天皇はこんな御沙汰

を発した。

「豊太閤其人の如キ英智雄略之人ヲ被為得度被思食、依之新二祠宇ヲ造為シ、其大勲偉烈ヲ表顯シ、萬世不朽ニ被為垂度被仰出候」（『豊國神社縁由略記』より。漢字は適宜新字体に直した）

豊臣秀吉を祀る神社を造営し、末永く顕彰せよとの仰せである。これにより明治12年（1879）、中之島に豊國神社が建立された。

現在、大阪市中央公会堂が建つ場所である。上の絵葉書がその当時の頃のもの。社記によれば、中之島が選ばれたのは「土地清潔、景勝の地であるから」だという。

その後、公会堂建設のため、大正元年（1912）に図書館の西方に遷される。

つまり、図書館と大阪市役所の間に挟まれるように境内があったわけだ。今では想像しづらいが、市役所の拡張のために大阪城内へ遷座したのが昭和31年（1956）だから、けっこう最近まで中之島のと真ん中に神社があったのである。

豊臣秀吉の銅像が燦然と建つ豊國神社は、太閤びいきの大阪の人々にとつてはやはり特別な存在だったに違いない。建立当初、社格は先に建てられていた京都・阿弥陀ヶ峰の豊國神社の「別社」だったが、「崇敬者たる大阪在住紳士縉商百三十六名連署して、同社の独立を政府当局へ出願し」、めでたく大阪府社となった。このあたり、「京都の別社はイヤ」という大阪人らしさが透けて見えないか。

また、社殿の修復・増築のために市民からの寄付がたくさん集まっていることや、白玉神社や若永神社といった

付近の小さな神社が遷されていることなどを見ても、市民にとつて親しみを持てる神社だったことがわかる。

古い絵葉書によれば、明治42年（1909）のキタの大火の際には、周辺住民が家財道具を持って避難に押し寄せた。他にも、日露戦争後には勝利を祝って戦利品である大砲が飾られている。大阪の中心に整備された都市公園内に建つ豊國神社は、行政機関にとつても重要な意味を持つ場所だったのだろう。



図書館の西に遷座後の境内。大砲に秀吉の銅像と、とてもにぎやか。（絵葉書資料館蔵）



明治時代の豊國神社の参道。右が中之島図書館、左奥には市役所が見える。（絵葉書資料館蔵）

豊國神社

徳川家康と大坂の人の 微妙な距離感。

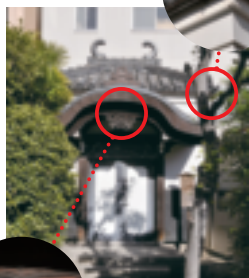
さて、豊國神社とは対照的に、明治時代になって廃社された神社があった。今の造幣局の近く、滝川小学校のあたりにあった川崎東照宮だ。東照宮というからにはもちろん、徳川家康を祀り、崇める神社である。

建立は江戸に幕府が開かれて間もない元和3年（1617）。徳川家康の外孫であり、大坂の陣によって廃墟と化した市街の復興に道筋を付けた松平忠明の発案だった。ふだんは町人たちが自由に出入りできる場所ではなかったが、毎年4月と9月の17日に行われる「権現まつり」には庶民の参詣も許され、特に家康の命日である4月17日は、「浪花随一の紋日（祭日）」とも謳われた。ところが、この権現まつり、実は幕府から大坂町人に対して「動員」がな

大阪天満宮の境内に、 川崎東照宮の名残が。

川崎東照宮には後日談がある。大阪にいた幕府の元力や同心たちが、「葵俱樂部」という組織を結成して川崎東照宮の再興を目指したのである。目的は果たせなかったが、この動きの中で葵俱樂部は川崎東照宮の神輿蔵や石灯笼を受け継ぎ、それが最終的に大阪天満宮に伝わっている。だから神輿蔵の軒瓦に見える葵の御紋は真正正銘のものである。

境内北の「星合の池」の奥にひっそりとある神輿蔵。軒瓦には葵の御紋が。



くっきり掘り出された「丸に三つ葉葵」を確認。かつては鳳凰が納められていた。



普段は立入禁止の、天満会館中庭にある石灯笼。柱に「東照大権現宮」の文字。



『花暦浪花白慢』より「権現まつり」。確かに行儀良すぎ？（大阪府立中之島図書館蔵）

川崎東照宮

滝川小学校前に残る川崎東照宮があったことを示す石碑。



されていたらしい。上の『花暦浪花白慢』の中で描かれている権現まつりの様子についても、たくさんの人が列をなしてはいるものの、整然としていてお祭りらしいエネルギーが感じられず、それは自発的に参加しているわけではないからだという指摘がある。

維新後、明治6年（1873）に廃社になったこともあり、「やっぱり大坂は昔から徳川嫌いって」と言いたくなってしまう。だが一方で、当時の富裕層と呼べるような人たちは祭日には進んで祝意を表し、寄付を行ったりしていたという研究もある。要は現実の生活がうまくいっていた層は、大坂であつても佐幕派だったわけで、話は一筋縄ではないのである。

徳川色を廃そうと豊國神社を建立した明治政府と、それを喜んだ大阪の人たち。しかし、その前には豊臣に代わって徳川の威光を広めようと東照宮が建てられ、それになびいた大坂町人もいた。結局、神社や神さまをどのよう

大阪天満宮

「道真さまにお願い！」の変わりよう。

いつから「受験の神さま」に？

正月を過ぎた大阪天満宮の境内は、親子連れでいっぱいになる。「受験の神さま」菅原道真のもとへ、中学生や

高校生たちが最後の神頼みにやってくるのだ。神社側も心得たもので、毎年1月から3月頭の受験シーズンには「通り抜け参拝」が行われる。普段閉門している東西の登龍門から、拝殿と

本殿を隔てている石の間に特別入場でき、より神さまに近い場所で参拝できるというもの。合格の狭き門を通り抜ける、という意味も込められている。実は、菅原道真が受験の神様として

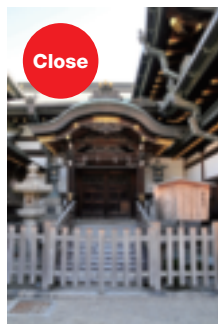
拝まれるようになったのは昭和40年、50年代。いわゆる団塊の世代が16〜20歳の時期で、大学受験戦争が起った頃だ。考えてみれば、菅原道真が生きていた平安時代に庶民の受験などなかつたはず。時代によって人々の願い事は変容していて、道真公に求めることも変わってきたということだろうか。

怨霊から和歌の神さまへ。

神格の変遷を探りに、なぜ菅原道真が祀られているのか、大阪天満宮の創建まで遡ってみる。太宰府へ左遷させられた菅原道真が没した延喜3年（903）以降、平安京は疫病や日照りに見舞われた。当時の人々にとって、疫病の流行や天変地異は怨霊の仕業だった。



境内で遊ぶのは、ご近所の「にじのとり保育園」の園児たち。神社が公園に変わるのが日常だ。



お守りと一緒に参拝券を授かった人のみが参拝できる「通り抜け」。親は門外で見守るのが主流か。

創建●天曆3年(949)
ご祭神●菅原道真
主な神事●初天神梅花祭(1月25日)、
天神祭(7月25日)など
開門時間●9:00AM~5:00PM
☎06-6882-1311
<http://www.tenjinsan.com/>



そのイメージに、道真の悲業の死が重なる。中でも落雷の被害が甚大であったため、道真は雷神と結びつき、雷神を祀る天神信仰の中心に据えられることとなったのである。

朝廷もこの信仰を取り入れ、道真の怨霊を鎮めるための北野天満宮や太宰府天満宮などを建立する。天暦3年(949)、勅令を受けて大阪天満宮も創建。天神さんは、天然痘や疱瘡といった疫病退散の神だったのだ。

しかし、天災の記憶が薄れるにつれて御霊信仰としての天神信仰は廃れていき、平安時代末期にもなると、道真が怨霊として見られることは稀に。平



「天満宮御絵伝」に描かれた、清涼殿の落雷事件。(大阪天満宮蔵)

和な時代を象徴するかのようには、貴族たちは一転し、道真を「和歌の神さまだ」とありがたがった。道真の非業の死に代わって、生前は和歌の名手だった彼のパーソナリティが注目された点に、コミュニケーションとして歌をたしなむ人々の必死さが伝わってこないか。

天神さん、お手本になる。

江戸時代になり、町人の子どもたちが通う寺子屋が普及していくと、ついに道真は「学問の神さま」となった。遊び盛りの子どもたちに読み書きそろばんを身につけさせるため、教え手は道真の聡明さや勤勉さを手本にするように。大阪には寺子屋が特に多かったというから、学問の神さまという性格づけは大阪天満宮発祥かもしれない。

つまり、「学問の神さま」というキャラクター設定が、時代の流れと共に「受験の神さま」へと進化したというわけだ。大阪天満宮文化研究所の高島幸次先生は、「そうやって上手く世相にはまった形もあれば、きつと流行らず忘れ去られた場合もあるのでは」と指摘する。

また、人々の関心が神さまの性格を変えてきたなら、これからも変わる可能性がある。「例えば、道真が太宰府に向かう前に参拝したのが、大阪天満宮の境内にある大將軍社。転じて、長期の外出、旅行の神さまになっていたかもしれない。世界に出ていこうとする今の日本でいえば、学問の神さまと合わせて、留学の神さまなんてどうでしょうか」。そんな妄想も楽しい。



これからの注目株(!?)大將軍社は境内北側、裏門に近い場所に鎮座。

神さんと人のいい関係 地元の人々が遊ぶ、 生活密着型神社でもあった。

「ミナミの繁華街がハレなら、天満宮の境内はケです」と高島先生。新調した着物でかしこまって参詣するのではなく、普段着と突掛けでひよいと足を運ぶ、人々の生活に密着した神社。それを示すのが「摂州天満宮社内之図」。描かれた明治20年(1887)頃の境内では、大道芸人や覗きからくりといった気安い見世物がずらり。現在の天満天神繁昌亭のあたりにも、大弓場や寄席小屋が。



境内の西側(左上)中央は、居合い抜きの人だかり。裏門(右上)すぐの小屋は、軒先に的があるので弓場だとわかる。



御霊神社

神社の軌跡は境内を見よ。

みかん撒きは、変わらない。

御霊神社がある船場・淡路町はオフィス街だ。そのため、界隈の企業からの信仰が厚い。中之島・帯も氏地なので、中之島フエスティバルタワーやリーガロイヤルホテル、中之島センタービルなどに祀られている稲荷神社では、御霊神社の神職による祭典が行われている。

師走の恒例神事も、率先して取り仕切るのは地元の企業。特にみかん撒きは会社員が参加しやすい昼休みに行なわれ、毎年ご近所さんがこぞって詰めかける。櫓の上から神職らが参列者に向けて数千個のみかんを投げる神事は、みかんを食べて風邪を予防せよということらしい。「無病息災を願う、古い



「三が日を過ぎると、仕事始めの企業さんが次々ご祈禱に来られます」と園宮司。



創建●9世紀後半?
ご祭神●天照大御神 津布良彦神
津布良媛神 応神天皇 源正靈神
主な神事●夏大祭・船渡御(7月中旬)、
みかん撒き(12月初旬)など
開門時間●9:00AM~5:30PM
☎06-6231-5041
<http://www.goryojinja.jp>

靱本町あたりにあった圓江神社だ。圓

御霊神社の前身は、現在の

「うつぼの碑」と水の記憶。

宮中行事なんですよ」と、宮司の園文夫さんが教えてくれた。実は、この神社は朝廷と深いつながりがあるんです。



氏地企業が寄進した、大きくて甘いみかんが宙を舞う。空箱を頭上に構えてキャッチするのが、祭事に通い慣れた氏子の証だ。

境内の植込みの中にある「うつぼの碑」。一方、靱公園内には御霊神社移転の碑が建つ。



江とは、円形の入江のこと。記録によれば、皇位継承の儀式の一つである八十島祭の祭場として、9世紀後半に大坂湾の入江に創建された祠が起源とされる。ぬかるんでいた圓江の地が次第に固まってくると、祠の周りに人が住み始めた。16世紀後半になると、阿波や西宮からやって来た魚の行商人たちが町を形成し、一帯は「永代浜」と呼ばれる海産物の荷揚げとして賑わった。永代浜に集まる商人たちにとっては朝廷ゆかりの神社というよりも、航海安全や豊漁、商売繁盛を願う神さまとして親しまれていた。現在、靱公園内の旧跡には楠永神社があり、魚の行商人が多く集まったことを示す「靱海産物市場跡の碑」が建てられている。

武士の守り神がもたらすもの。

さて、天下統一を果たした豊臣秀吉が大坂城に入ると、船場のあたりは政治経済の中心地となつて、諸大名の家屋敷が建ち並んだ。圓江神社にも、

多くの武士が戦勝祈願に詣でるように。寄進を受けることもしばしばで、船場に移ったのも武家屋敷の敷地を寄進されたからだ。

文禄3年（1594）、現在の場所に移った圓江神社は、もともと敷地内で祀られていた鎌倉権五郎景政の御霊（源正霊神）をお迎えし、やがて名前を圓御霊神社と改めた。鎌倉権五郎景政は永保3年（1083）に起こった後三年の役での活躍が知られる武將で、右目を射られてもなお奮戦したことから「武士の守り神」として人気があった。御霊＝怨霊の意味を持つが、実は御霊神社の名前は、この「権五郎」が転じた「御霊」が由来だ。

氏地である中之島に蔵屋敷がひしめき合った江戸時代には、御霊神社はますます大名たちからの崇敬を集め、安



夏の蒸し暑い御堂筋を闊歩するのは、甲冑姿や姫姿の氏子たちだ。

永9年（1780）には船渡御が始まった。猛將を祀っていたことにちなんで、甲冑武者ら500人もの行列が、境内から船を留めた淀屋橋南詰めに向かう。大坂の夏の風物詩とたたわれるほど見応えがあった。その際、目を負傷した鎌倉権五郎の御迎え人形も作られ、船の舳先を飾っていたという。

明治維新到来と蔵屋敷廃絶のタイミングで途絶えてしまったが、2011年の夏に150年ぶりの復活を遂げた。これもまた、神さんと人の切っても切れないつながりかもしれない。

文化と芸能の発信基地。

明治17年（1884）、文楽の始祖と言われる初代植村文楽軒が、人形浄瑠璃を興行する劇場を御霊神社境内につくり、「御霊文楽座」を旗揚げした。

「それまでは神仏習合で境内にお寺があり、大坂三十三ヶ所観音めぐりの札所にもなっていました。明治政府から神仏分離令が出され、御霊神社の境内もずいぶん狭くなりました。寺の跡地には、境内地確保のため私の曾祖父が御霊文楽座を誘致し、人が集う意義がある場所にしたのでしょ」。

もともと船場商人の社交や商談の場だった境内は、夜店や常設小屋も増えていつそう華やかに。御霊神社は、芸能の発展を支えた重要拠点でもあった。残念なことに大正15年（1926）の



明治時代末期の御霊文楽座興行の様子(上/国立国会図書館蔵)。その跡を示す碑は鳥居の横に残る(右)。右上は儀式殿の内部。

出火で文楽座は焼失し、以降は四ツ橋に拠点を移した。

園さんは文楽座の記憶を継承し、跡地に儀式殿を竣工。現在は利用者を広く集い、古典芸能やコンサートなどを開催している。

この儀式殿を始め、朝廷との縁を示すみかん撒きに、水辺の神社だった記憶である「うつほの碑」、そして近年復活した、武士の守り神であることに由来する船渡御。御霊神社と人々のつながりの歴史は、今も境内に残っている。

神さんと人のいい関係

戦前の船場をふり返る。参道の顔ぶれがわかる地図。

右は、昭和10年（1935）頃の船場の街並みを復元した昭和59年（1984）発行の地図から、御霊神社境内周辺の様子。製作したのは、御霊神社がある淡路町通の2本南、備後町にあった船場小学校の卒業生だ。何百年後にも古き良き船場の姿を伝えていこうと、同窓生たちは記憶を頼りに軒ざつ埋め、完成したのは10年後。現在は竹中工務店など、地元企業が当時を知る道具になっている。



「平ぶら」という言葉が生まれたほどの歓楽街には、キャバレーの文字も見える。

少彦名神社

薬屋さんと二人三脚。

求め続けられて400年。

11月の神農祭で知られる少彦名神社。武田薬品や塩野義製薬など、道修町生まれの老舗製薬会社は、この神社に並々ならぬ思いがあるはずだ。

というのも17世紀前半に、すでに道修町には薬種問屋が集まり始め、享保7年（1722）に江戸幕府から公的に認められた124軒が神社の必要性を感じ、創建に関わっているからだ。中国や日本各地から買付けた生薬を、全国の薬屋に卸していた薬種業者たちの仕事は、常にながい物を見分ける確かな目利きや豊富な知識の有無が問われる。幕府お墨付の道修町ブランドに恥じぬよう、薬種業者たちは安全な取引と薬業の繁栄を祈願できる神様と拠点が欲しかった。そこで、もともと唐薬の神



神社を取り巻く薬種問屋の名前や位置を再現した、「くすりの道修町資料館」の模型。



絵馬の図柄にもなっている少彦名命(左)と神農(右)。

として祀っていた神農と、新たに迎えた国産薬の神・少彦名命の二柱を、薬問屋の会所で祀り始めた。この神社ならではのと言えるのは、初めから薬の神さまとしてのニーズを求められたうえで迎え入れられ、今なお受け継がれているという点である。

無ければ、作ればいいじゃない。

こうした経緯から、創建当初は薬種業者のための場所だったが、昭和10年（1935）頃からは一般開放される

創建●安永9年(1780)
ご祭神●少彦名命 神農炎帝
主な神事●神農祭(11月22日・23日)、
献湯神楽(毎月23日)など
開門時間●6:30AM~6:30PM
☎06-6231-6958
<http://www.sinnosan.jp>



ように。また、昭和25年（1950）あたりから、製薬会社たちの働きかけで、神農祭の大笹にくす玉、吹き流しや薬のパッケージが加わり色を添えた。2000年代に入ると街並みに変化があり、「参拝者の顔ぶれも多彩になった」と宮司の別所俊顕さんは言う。「タワーマンションが増えて、家族連れが目立つようになりました。オフィス街の大晦日が深夜まで賑わうなんて、あり得ませんでしたよ」。

小型犬を散歩させる人口が増加したことにも着目し、動物用の製薬会社と組んで、新たにペット専用のお守りや初詣の受付も始めた。神社と企業が力を合わせて、自分たちの街に合ったスタイルを柔軟に築いていく。まさに、神さんと人のいい関係である。



2012年に新登場したペットのお守りは、2色展開。愛犬の首輪に付けやすいサイズかもしれない。

1月のナカノシマ大学は、少彦名神社で初詣だ！

街の人たちと一緒に歩んできた少彦名神社に初詣がてら参拝してみよう。宮司の別所俊顕さんが、おなじみの高島幸次先生を迎え、大阪の神社と人々の関係や初詣の作法をレクチャー。境内で参拝した後は、資料館や道修町通をガイドする。
開催日時／1月10日(土)
1:30PM~3:00PM(開場1:00PM)
受講料／2,000円
●詳細はナカノシマ大学webサイト！



神さんと人のいい関係

製薬会社のゆるキャラが、神農祭の新たな目玉に。

「もっと子どもたちにも神農祭に来てほしい」と、2013年から始まったゆるキャラパレード。少彦名神社の「神農さま」や「カイゲンの風神さん」、昨年初登場したルート製薬の「ロツ太くん」も大人気。森下仁丹の「仁丹王子」に至っては、実写風から可愛い着ぐるみに作り直されたというから、製薬会社も全力投球の祭事なのである。



狙い通り、子どもや若者が祭事は盛況。大幸薬品のゆるキャラ「正露丸くん」の姿も。

Before

After



SUMUFUMULAB ×  ナカノシマ大学

【住ムフムラボ】

住むコトのヒントがつまった体験型ラボ、

「住ムフムラボ」の トークセッションへ行こう!

月刊島民読者 &
ナカノシマ大学
学友諸君



グランフロント大阪
(北館)
ナレッジキャピタル
4階

1/22 (木) 19:00~20:00

参加無料

予約不要

定期開催

「古地図から読み解く 大阪の地層と防災」



三田村 宗樹さん
(大阪市立大学大学院理学部教授)

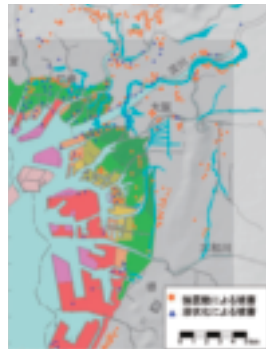


江 弘毅
(『月刊島民』編集発行人)



地震に弱い大阪の街。そこで暮らす私たちが、知っておくべきこと、必要な備えとは？

毎月、住まいや暮らしにまつわる様々な話題でトークを繰り広げる「住ムフムセッション」。1月のゲストは長年大阪の地質を調査・研究されている三田村宗樹さん。江戸時代～明治大正の古地図や錦絵、土地の名前が物語る水辺の大阪と地震被害のありようから、いま、皆さんが住む大阪の地質特性が見えてくるのだとか。「まず自分が生活しているところがどういう場所かを知ることが大切だ」とおっしゃる三田村教授は生粋の大阪人でもあり、地層や地盤の地歴から考察する大阪の防災についての知見は必聴です。



三田村教授が作成した兵庫県南部地震における大阪周辺の被害分布を示した地図。どんな地盤の土地でどんな被害が起こったのかを関連づけて分析している。

1/17(土)から「皆で考えよう、暮らしの〆防災力。」をテーマに企画展や親子で楽しめるイベントを開催します。

暮らしのヒントを
見つけよう!

住ムフムラボは「これからの住まい方」のアイデアが満載、気軽に楽しめます。

住ムフムラボには「かぞくのかたち」「いごちのかたち」「いきかたのかたち」という3つの展示ゾーンがあります。展示と言っても、モデルハウスやショールームではありません。これからの暮らしや住まいをイメージするためのヒントが満載です。



2500冊の本や雑誌が読み放題。

テーマ別に分けられた展示空間には、知識や好奇心を深めるアイテムや研究員が選んだ関連図書が2500冊以上並び、自由に読書が楽しめます。展示からも本からたくさんのヒントが見つかります。

暮らしを考えるワークショップも続々。

トークセッション以外にも、これからの住まいのあり方を体験し、みんなで考えるワークショップや親子で参加できるイベントなどを開催。気軽にご参加ください。研究メンバー(会員)に登録すれば、限定の特典もいろいろ!

ソファでゆっくりコーヒー、もOK!

ラボの中央に位置する「住ムフムスクエア」では、お茶を飲みながらお気に入りの本を選び、椅子やソファの座り心地を楽しみつつゆっくりと読書が楽しめます。美味しいコーヒーは、ラボ内のカフェカウンターでご注文を。



例えば、「いごちのかたち」ゾーンにある「もしものコト」の展示では、非常時用の備蓄品や非常食を有効活用するためのレシピ、さらに最新の耐震技術や防犯技術を紹介。それらを通して、災害にも負けない「もしもの」時のわが家の備えについて家族で話し合うためのきっかけが生まれます。

生きるコトを、住むコトに。

SUMUFUMULAB

【住ムフムラボ】



グランフロント大阪(北館)ナレッジキャピタル 4階

JR大阪駅・阪急梅田駅・阪神梅田駅・地下鉄梅田駅・西梅田駅・東梅田駅より徒歩。

□開館時間:10:00~19:00(カフェL.O.18:30) □定休日:水曜日・年末年始 ※詳しくはsumufumulab.jp

〒530-0011 大阪市北区大深町3番1号 グランフロント大阪(北館)ナレッジキャピタル 4階

積水ハウス株式会社 総合住宅研究所 住ムフムラボ TEL:06-6485-7590

ラボの詳細や豪華執筆陣のコラムはWEBサイトをチェック!

住ムフムラボ

検索



JR大阪駅より2F連絡デッキで北館までつながっています。

笑う落語の大阪

第十回 高島幸次

正月の落語といえば『初天神』が思い浮ぶ。舞台は、お初天神（露天神社）、ではなく大阪天満宮である。毎月二十五日は天満宮の祭日で、正月は「初天神」、師走は「終い天神」で特に賑わった。

大阪天満宮の北門前は、かつて「天満天神裏」と呼ばれ、「天満八軒」と総称された寄席小屋が軒を並べ、近年は天満天神繁昌亭で賑わっている。それなのに同宮が舞台の古典落語としては、『初天神』以外には寡聞にして知らない。六代桂文枝が古典

の『元犬』を改作した『天満の白狗』は、舞台を天満宮に移しているが。

しかし、天満宮の祭神・菅原道真は幾つもの落語に顔を出す。『質屋蔵』では、質草の天神画像が「また、流されそうな」と言うのがオチだ。

いうまでもなく、道真が太宰府に流された史実と、質流れをかけている。

『狸賽』では、タヌキが丁半博奕の賽子に化け、振り手の指示通りに目を出す話。ところが五を出せと言

う指示が「真ん中」に一つポーンとあって、ぐるりにポンポンポンと、

梅鉢は、賽目の五か？

が、これは五つ紋と言ひ、梅鉢紋ではない。第一、並びが違う。賽の五の並びは図3の通りだ。



このように、落語は何気なく聞いていると化かされてしまう。しかし、それに流されてしまうほうが絶対に面白い。

正月天神寄席のゲストは、医師で作家の久坂部羊さん。医療現場のオチが話される？

たかしまこうじ

大阪大学招聘教授、追手門学院客員教授、大阪天満宮文化研究所研究員などを務める。

1月の天神寄席は、けったいな診察で初笑い。

天満天神繁昌亭では、土地を提供している大阪天満宮に敬意を表し、毎月25日の夜席を「天神寄席」と銘打ち、さまざまな企画を開催している。新年第一弾は、上方の医者と患者が繰り広げる、はちゃめちゃな介護や看護が演目のお題に。鼎談のゲストは、島民読者にはおなじみの久坂部羊さん。昨今の医療事情から現代の笑えない（？）失敗談が聞けるかもしれない。

●1月のお題は「介護と看護」

1月25日(日)

「介護・看護・落語」

落語／笑福亭仁嬌(代脈)

桂楽珍・夏の医者

桂文之助「短命」

桂文福「疝気の虫」

笑福亭福笑「宿屋ばあ」

鼎談／面白い介護と面白い看護

笑福亭福笑

久坂部羊(医療小説家・医師)

高島幸次(大阪大学招聘教授)

プライベートでも、よく落語を聞くという久坂部羊先生。落語は医療小説の題材になる？



い度、笑屋爆でもさんか「宿」はお婆を抜す「至」肝笑師は笑必

ナカノシマ大学で前売り券を買うとお得！

「天神寄席の前売チケットをナカノシマ大学で買くと、1800円で入場できます。いつものナカノシマ大学と同じく、ウェブ、ハガキ、FAXでお申し込みを受付中。

開催日／1月25日(日)

時間／6:00PM(開場5:30PM)／受付開始5:15PM(受講料／1800円(通常…前売2000円／当日2500円)

支払い方法／当日、現地にて精算

販売期間／1月23日(金)7:00PMまで

※ナカノシマ大学で販売するチケットは前売り券のみです。当日券の販売はありません。

●申し込み方法はP11を参照してください。

●問い合わせ ☎06・4799・1340

イラスト / フジワラトモコ

大阪における
手塚の足跡をたどる



ナカノシマ大学
NAKANOSHIMA UNIVERSITY

21世紀の
懷徳堂
プロジェクト

◎今月の授業

【手塚治虫】

2015年2月講座

「街から読み解く手塚治虫」

講師／加藤賢一（前大阪市立科学館館長）

田浦紀子（手塚治虫研究家）

長崎励朗（京都文教大学専任講師）

作品にも頻出する大阪の街と手塚治虫の関係を、
さまざまな人々の証言によって紹介。
科学館所蔵のお宝公開&手塚ゆかりのお土産も！

「マンガの神様」と呼ばれた手塚治虫は、大阪にとってもゆかりの深い人物だった。幼少期から家族で何度も中之島に足を運び、マンガ家になる前は大阪大学付属医学専門部に通っていた。また、手塚作品を細かく見ていくと、大阪のさまざまなスポットが描かれていることがわかってくる。

そんな手塚の足跡や作品との関連性をライフワークとして研究しているのが、2014年7月号でも登場してくださった田浦紀子さん。今回は田浦さんの研究成果である「虫マップ」を軸にしながら、さまざまな人たちの証言によって、手塚と大阪の街の結びつきを読み解いていく。

会場となるのは、少年時代の手塚が魅了されたプラネタリウム「カール・ツァイスⅡ型」を保存・展示する大阪市立科学館。直筆サインが入った記念色紙など、所蔵品も特別公開してもらう。さらに、手塚ゆかりのお土産も用意。手塚にまつわる場所・人・ものによる濃密な時間をどうぞお楽しみに。

加藤賢一さん
前大阪市立科学館館長。前身施設の電気科学館勤務時代に、テレビ番組の取材で手塚と科学館の関わりを知り、手塚を招いた講演会に携わる。



田浦紀子さん
ゆかりの地を記した研究誌「虫マップ」を発表。各種媒体への執筆やイベントなどを主宰。
<http://www2.ocn.ne.jp/~norimi/mushimap.html>



長崎励朗さん
専門は社会学で、「教養」「都市と自然」など独自のキーワードによって作品を解釈する。小学校時代に読んだ『火の鳥』からの手塚ファンである。



SPECIAL.1

「物語」のあるお土産付き！

今回のお土産は2つ。手塚が愛したプラネタリウムの写真がデザインされた大阪市立科学館特製のクリアファイル。また、そのプラネタリウムが由来となったお菓子「プラネタリウム」も一緒にどうぞ。



SPECIAL.2

アジア初のプラネタリウムを見よ。

手塚をはじめ、多くの人を魅了したプラネタリウムの実物が、今も科学館に展示されている。ドイツのカルツァイス社が技術の粋を結集して造った名機を、学芸員の方の解説でご紹介。



「街から読み解く手塚治虫」

日時／2015年2月11日（祝・水）

2:00PM～4:00PM頃（開場1:30PM～）

会場／大阪市立科学館 研修室

受講料／2,200円（お土産付き）

定員／80名

主催／ナカノシマ大学事務局 大阪市立科学館

お名前・ご住所・電話番号を明記の上、下記までハガキ、ファックス、もしくはHP内の応募フォームからお申し込みください。ハガキ、ファックスについては、複数名でご参加希望の場合は、人数分の必要事項を明記してください。ハガキ、ファックスでお申し込みの方は、講座名を必ずお書き添え下さい。

〒530-0004 大阪市北区堂島浜2-1-29 古河大阪ビル4階
「ナカノシマ大学2月講座」受付係 FAX.06-4799-1341

※先着順で受付を確認し次第、順次、受講票をお送りします。
※定員に達した時点で申し込みは締め切らせていただきます。

ナカノシマ大学の最新情報は

<http://www.nakanoshima-univ.com>

ケータイからは
こちら→



お問い合わせ ☎ 06-4799-1340
（ナカノシマ大学事務局）

最

近、中之島界隈のパティスリーでは、観光帰りや島民のおもたせにぴったりの「名物」が生まれている。

2013年に西天満でオープンした「namenoki」は、「中之島サブレ」を新しい中之島土産として誕生させた。一口サイズのサクラ型サブレはパターの風味豊かで、持ち運びが楽なコンパクトケースに詰まっている。

「アレルギー体質の家族に食べさせたい」という思いで、主婦目線で見極めて安全な材料で、少しずつ作っている。1988年に堺市でパティスリー

mamenoki 大阪・中之島店

森島さんの丁寧なお菓子作りは主婦の支持を集め、レシビ本も上梓。「中之島サブレ」(20個入り)はバター味、こしょう&エダムチーズ味の2種各1,500円。カフェスペースもあり。
☎06-6365-7778 10:00AM~8:00PM
(土曜・祝日~5:00PM) 日曜休
<http://www.mamenoki.co.jp>

お菓子の中之島名物が 増えつつある。

サブレを考案。東京の老舗百貨店にもお菓子を卸しており、「中之島」の名前を見て、遠方からわざわざ足を運ぶ人も。手土産が「中之島ってどこ?」という会話に繋がっているのだ。

店内にはレモンケーキにウイスキーボンボンなど、懐かしのおやつが多い。西天満在住のお年寄りや古美術店、弁護士村の先生方の御用達となっている。

中

之島ダイビルにも店舗を構え、北浜が本館のパティスリー「五感」。今年10周年を迎えるが、2013年に初登場したチョコレートには、二

ーを開いた森島良枝さんの夢は、大阪の歴史が色濃く残る中之島で店を開くことだった。「蔵屋敷があつた時代と変わらず、中之島は川に囲まれた重要拠点で、石碑など多い。大阪市中央公会堂や、店の向かいにある大江ビルディングのような近代建築も、大事に保存されていますよね」。そんな土地の空気を手土産にしたいと、大川沿いや中之島公園のサクラを型取り、パッケージに中央公会堂のイラストを入れた



五感

元銀行の瀟洒なレイアウトを活かした本館。新井ビル先代オーナーが描いた絵画もティータイムを彩る。一方、手土産専門の中之島ダイビル店は、オフィス街の頼もしい味方だ。トリュフショコラ「五感 琥珀17」(5個入り)1,080円。

[北浜本館] ☎06-4706-5160 9:30AM~8:00PM

(日・祝~7:00PM) 無休

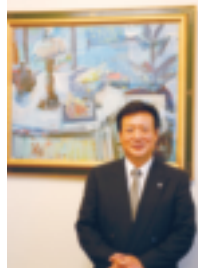
[中之島ダイビル店]

☎06-6225-3303

9:30AM~7:00PM

(平日のみ営業)

<http://www.patisserie-gokan.co.jp>



ツカウキスキーが贅沢に使われている。ふくよかな香りの大人向けスイーツは、販売当時から大反響があり、翌年からバレンタインの定番商品となった。

島民でも昨年10月号で特集したが、ニッカ創業者の竹鶴政孝が、芝川ビルのオーナーである芝川又四郎と懇意にしていたのは読者もご存じの通り。つまり、船場という土地を語る菓子にもなっているわけだ。

社長の浅田美明さんが「竹鶴21年」と出合ったのは3年前。ホテルの老舗バーで味わった香りに、「これを使っ

たお菓子を作ろう」と決意。深く調べるうちに、ニッカと芝川ビルの密な関係を知った。「五感」が入る新井ビルも北船場の名建築として、芝川ビルに通じるところがある。菓子と近代建築を通して船場の魅力を発信したかった浅田さんにとって、わくわくするようなアイデアだった。

熟成が進んだ「21年」は、芳醇さが口に広がるウイスキーボンボンに。やや荒々しさが残る「17年」は、なめらかなトリュフや焼菓子に。熟成の妙さ実感できる菓子が、今年も店頭に並ぶ。知られざる人と土地の関係を体現した作品は、大阪を愛する名パティシエならではの。

トウミン月報

2015年1月1日発行

網本武雄さんの『大阪名所図解』原画展&トークショー開催!



大阪市中央
公会堂や大阪
府立中之島図
書館、旧ダイ
ビルといった

中之島のシンボリック建築をはじめ、橋や駅など大阪の「名所」を線画で図解した『大阪名所図解』。その線画を担当したのは、本誌の初期の人気連載「Talk about bridges」の橋の話をしよ」で、中之島の橋を描いてくださった網本武雄さん。

その見ごたえ抜群の線画をじっくりと見られる展覧会が1月30日(金)から開催される。今回は網本さんの絵の原画を展示する。本になったものももちろんだが、原画の場合、ペンのタッチの隅々まで見ることができ、線画の持つ奥行きを実感することができる。展示される原画を購入することもできるので、気に入った建築や風景の絵を自宅に飾ってみてはいかがだろうか。

網本武雄「大阪名所図解」原画展

期間/2015年1月30日(金)~2月13日(金)※無休
会場/スタンダードブックスア心斎橋 B1カフェ
時間/11:00AM~10:30PM 入場料/無料

網本武雄×高岡伸トークショー「大阪の建築を見る、描く」

日時/2015年1月30日(金)
7:30PM~8:30PM(サイン会あり)
会場/スタンダードブックスア心斎橋 B1カフェ
入場料/1,000円(ワンドリンク付き)
申し込み・問い合わせ ☎06-6484-2239



建築を設計あるいは研究する立場の高岡さんと、描く立場の網本さん、それぞれの視点から建築の見方・楽しみ方を紹介する。(大迫力・本誌)

ナカノシマ大学の鉄道講座で大人気の黒田一樹さんのセミナーが開催される。今回はなんと京阪神の地下鉄&地下線に特化した内容というから、ちょっと驚いてしまった。ところが、黒田さんに言わせれば「完全な人工空間」であるから「面白い」というのだ。

「景色のない電車なんて何が楽しいのかと思うかもしれませんが、さすがに、完全な人工空間ゆえに、鉄道事業者の個性や建設時の時代性が色濃く反映されるのが地下線なのです」



黒田一樹さんによる京阪神地下鉄&地下線ガイド



創元社 鉄道セミナー
「関西アンダーグラウンドの作法
京阪神 地下鉄・地下線ガイド」
日時/2015年1月29日(木)7:00PM~8:30PM
会場/創元社本社 4階セミナールーム 受講料/2,000円
申し込み・問い合わせ ☎06-6231-9011

映画専門の「駒鳥文庫」が大阪天満宮の参道に移転

映画関連専門の古書店「駒鳥文庫」が、昨年11月に大阪天満宮参道に移転した。映画ファンがわざわざ足を運ぶラインアップや、こじんまりとした空気感はそのままだ。これまでお蔵入りしていた映画雑誌などが、晴れて書棚に仲間入り。オーナーの村上淳一さんが一番好きで、1970年代の国内外の映画関連書がさらに充実した。

映画関連古書専門

駒鳥文庫
大阪天満宮の正門からやや南下し、大きな窓と駒鳥が描かれた看板が目印。店内では名物のコーヒー400円や、村上さんとの新旧映画談義が楽しめる。
時間/12:00PM~7:00PM
定休日/月曜
☎06-6360-4346
<http://komadori-books.jp>



昨年12月にオープンしたばかりの「ととりのまんま」には、精肉や野菜・果物、加工品など鳥取の名産品が勢揃いする。そのどれもが鳥取の気候風土を活かした、人々の技と知恵の結晶と呼べるものばかりだ。

まずは「大山みるく豚」。名前の通り牛乳やケーキ、豆腐のおからなどを食べて育つ。1頭あたりの空間を広くとり、ストレスのかけない環境で通常よりも長い時間をかけて飼育されることで、肉の旨みや脂質がぐんと上がり、やわらかく甘みのある肉質に仕上がっているのだという。

鳥取の風土と技が生んだ名産品が、中之島へ。

「ととりのまんま」 ●鳥取市のセレクトフード



白バラ牛乳入り「まんまソフト」は1個400円。濃厚でもすっきりとした甘さ。

米どころである鳥取の「天日米」も自慢の逸品だ。稲を刈り取った後、稲木という横木に数日間天日干しにする。この時、逆さまに吊すことで、稗の油分や栄養分が米粒へ降りてきて、アミノ酸と糖の含量が高くなり、一粒一粒の甘みや旨みが増すと言われている。古くから日本各地で行われてきた手法だったが、手間がかかるた



新鮮な野菜やお肉が豊富に揃うため、会社帰りに買って帰るという人も。「食べて美味しかったから」と、早くもリピーターが生まれている様子。

米どころである鳥取の「天日米」も自慢の逸品だ。稲を刈り取った後、稲木という横木に数日間天日干しにする。この時、逆さまに吊すことで、稗の油分や栄養分が米粒へ降りてきて、アミノ酸と糖の含量が高くなり、一粒一粒の甘みや旨みが増すと言われている。古くから日本各地で行われてきた手法だったが、手間がかかるため、10月から11月にかけて収穫する王秋梨という品種は貯蔵性が高く、冷蔵で保存すれば3ヶ月以上も長持ちし、時間が経つほど味が変わっていくという楽しみがある。

大阪ではなかなか手に入らないものばかり。鳥取の生産者の技と思いを存分に味わいたい。

近年は乾燥機を使うことが多く、減少傾向にある。天日米は太陽の光と中国山地の清らかな水で育った、まさに鳥取の自然によって育まれた米なのだ。

野菜や果物にも鳥取ならではのものが多く、冬に美味しくなるものを挙げれば、砂丘での砂地栽培により肌が白く歯ごたえの良いらっきょう、山陰の厳しい冬の寒さに耐えることで甘みが増す白ねぎ。また、江戸時代に栽培が始まり、400年以上の歴史を持つ日光生姜は、生姜穴で5ヶ月間熟成させることで、香りが強くコクのある辛さになる。他にも鳥取と言えば梨が思い浮かぶが、10月から11月にかけて収穫する王秋梨という品種は貯蔵性が高く、冷蔵で保存すれば3ヶ月以上も長持ちし、時間が経つほど味が変わっていくという楽しみがある。

祝 祭 へ よ う こ そ 。



<http://festivalplaza.jp/>

提供／株式会社 朝日ビルディング



鳥取市関西情報発信拠点 ととりのまんま

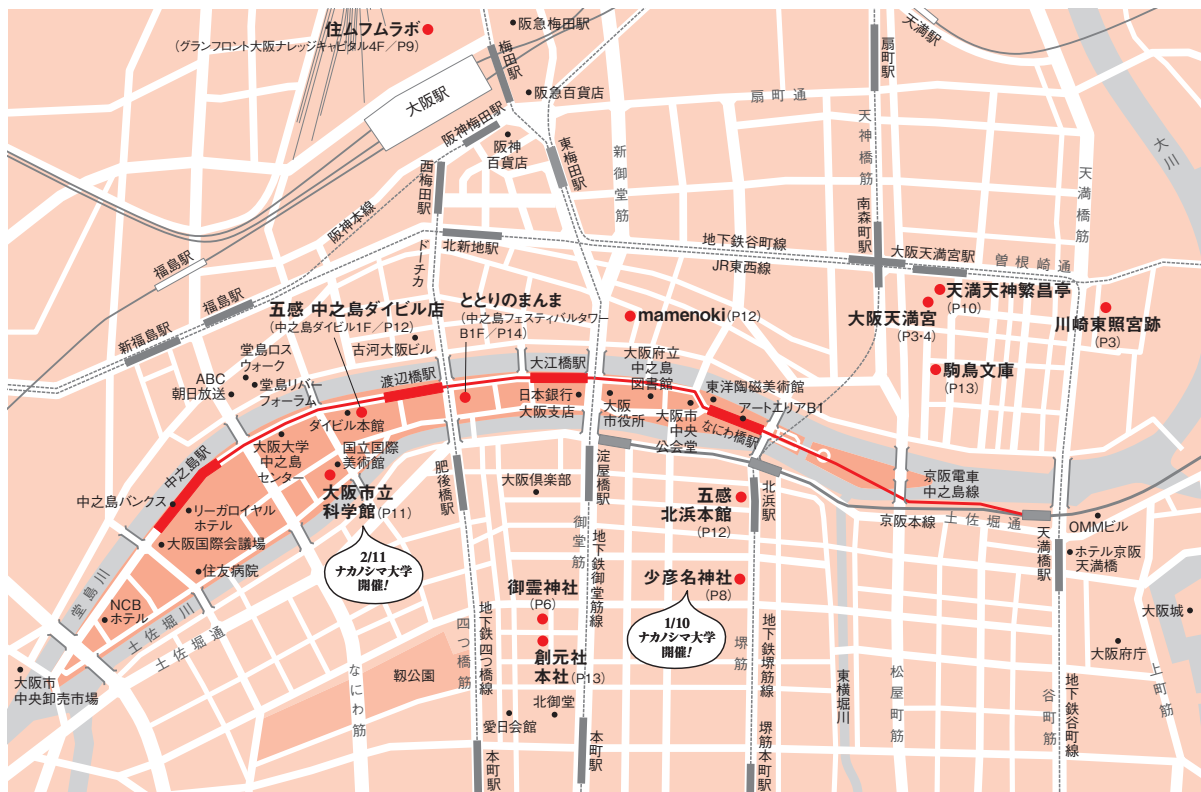
●中之島フェスティバルタワーB1F

鳥取市が誇る生鮮食材や特産品の加工品を取り揃えたショップ。同時に鳥取の観光情報を発信する拠点としての役割も担っている。鳥取では1日に5,000個売れたこともあるという白バラ牛乳をたっぷり使ったソフトクリーム「まんまソフト」など、地元ではおなじみの大人気商品も。鳥取にしかない「地元」の味と情報が満載だ。

☎06-6210-3386 10:00AM~8:00PM 不定休

大「島民」MAP

橋を渡って通う人、川を見ながら帰る人、
みんな「島民」です！



『月刊島民』はここでもらえます。

- 京阪電車関連 京阪電車主要駅/京阪シティモール/京阪モール/デリスタ天満橋店/ホテル京阪天満橋/ホテル京阪京橋
- 大阪市北区・中央区・福島区 [書店] 旭屋書店 梅田地下街店/カベラ書店/紀伊國屋書店 梅田本店/紀伊國屋書店 グランフロント大阪店/紀伊國屋書店 本町店/ジュンク堂書店 大阪本店/ジュンク堂書店 梅田ヒルトンプラザ店/ジュンク堂書店 天満橋店/MARUZEN&ジュンク堂書店 梅田店/スタンダードブックストア/天牛書店 大江橋店/文教堂書店 淀屋橋店/隆祥館書店
- [公共施設・大学関連施設など] アイスボート/朝日カルチャーセンター/味の素 食のライブラリー/ABC朝日放送/大阪企業家ミュージアム/大阪倶楽部/大阪工業技術専門学校/大阪国際会議場/大阪市中央公会堂/大阪市立中央図書館/大阪市役所市民情報プラザ/大阪城天守閣/大阪商工会議所/大阪大学中之島センター/大阪21世紀協会/大阪府立中之島図書館/大阪ボランテア協会/大阪歴史博物館/追手門学院 大阪城スクエア/川の駅はちけんや/関西学院大学 大阪梅田キャンパス/慶應大阪シティキャンパス/国立国際美術館/CITY NAIL'Sインターナショナルスクール/芝川ビル/市立住まい情報センター/中央電気倶楽部/ホテルNCB/メビック扇町/立命館大阪オフィス/龍谷大学大阪梅田キャンパス
- [店舗・医院など] アリアスカ マーブルトレ/アンドール 本町本店/上町貸自転車/Ultra 2nd/江戸前料理 津津可/天満橋鍼灸整骨院/MJB珈琲店/大西洋服店/OOO(オー)ノカセット/喫茶センター/喫茶SAWA/グランドコート中之島/黒門さかえ/コモンカフェ/The Court/サトウ花店 中之島本店/ザ・メロディ/シトルベストコーヒー新聞電ビル店/じろう亭/Girond's JR/心齋橋山田兄弟歯科/住友病院/セブイレブ大阪証券取引所店/タビエスタイル/たまがわ鍼灸整骨院/東郷歯科医院/NAKAGAWA1948 淀屋橋店/ナンジャノ/バスターレー/花かつ/BAR THE TIME 天神/平岡珈琲店/ビルマニアカフェ/フレイムハウス/ミニジロー/宮崎歯科/やきとりばかや/吉田理容所/ラックカーニャ/LES LESTON
- 大阪市内その他 [書店] 大阪書店/紀伊國屋書店 京橋店/なんばミヤタ/福島書店/柳々堂/ループル書店 [公共施設・大学関連施設など] 大阪社会福祉研修・情報センター/大阪市立図書館/川口基督教会 [店舗・医院など] あじさい/アートアンドクラフト/欧風食堂 ミリバー/大阪市信用金庫 江戸堀支店/御舟がめ/Calo Bookshop and cafe/写真とプリント社/鳥かごキッチン/ネイルサロン スワナ/バルビコ/ホステル64オオサカ/MANGUEIRA/Loop A
- 大阪府下 旭屋書店 京阪守口店/学運堂/Books 呼文堂/水嶋書房 くらほモビル店/大阪狭山市立図書館/大阪大学企画広報・社会学務事務局/大阪大学 21世紀記念館/大阪大学本部/寝屋川市役所/摂南大学 地域連携センター/郵政考古学会/ゆったんこ
- 大阪府以外 ジュンク堂書店 西宮店/恵文社 一乗寺店/水嶋書房 丹波橋店/伊丹市文化振興財団/川のほとりの美術館/納屋工房/タバーン・シンパソン/百練/奈良県立図書館報館

◎バックナンバーお譲りします。

バックナンバーをご希望の方には1冊100円(手数料)でお譲りしています。なお、品切れの号もありますが、予めご了承ください。お問い合わせは下記の電話番号まで。

◎定期購読も受け付け中です。

毎月確実に読みたい方は、ぜひお申し込みください。まずは下記の電話番号までお問い合わせ下さい。

次号予告 大阪市立科学館の25年。

中之島が誇る人気スポット、大阪市立科学館が25周年を迎えた。
これまでの歩みをふり振り返りながら、改めてそのすごさをお伝えしよう。

●『月刊島民』vol.79は2015年2月1日発行です！

編集・発行人/江 弘毅(編集集団140B)
編集・発行/月刊島民プレス
若狭健作 網本武雄(株式会社 地域環境計画研究所)
松本 創 江口由夏 大迫 力(編集集団140B)
〒530-0004 大阪市北区堂島浜2-1-29 古河大阪ビル4階
Tel 06-4799-1340 Fax 06-4799-1341
制作進行/堀西 賢(ALEGRESOL)
デザイン/山崎慎太郎
表紙イラスト/奈路道程
印刷/佐川印刷株式会社

みんな、みんなの、おけいはんです。

あのモールやレジャースポットも、
街なみも、電車もバスも、
あなたの毎日のそばに、京阪グループ。



|| 京阪グループ || (運輸) 京阪電気鉄道 叡山電鉄 京福電気鉄道 京阪エンジニアリングサービス 京阪レジャーサービス 中之島高速鉄道
京阪ステーションマネジメント 京阪エージェンシー 京阪ライフサポート 京阪バス 京都京阪バス 京阪京都交通 ケービー・エンタープライズ 江若交通
ザ・コジャック 京都バス ケーター自動車工業 (不動産) 京阪カインド 京阪電鉄不動産 イースタン興業 京阪アセットマネジメント 京阪ビルテクノサービス
京阪産業 かんこう 文化財サービス 京阪園芸 (流通) 京阪流通システムズ 京阪百貨店 京阪友の会 京阪ザ・ストア 京阪レストラン ジュースバー・コーポレーション
(レジャー・サービス) 琵琶湖ホテル 琵琶湖ホテルサービス ホテル京阪 京阪アーバンシステムズ 京阪リゾートシステムズ 京都タワー 京都センチュリーホテル
琵琶湖汽船 琵琶湖汽船サービス びわこフードサービス 大阪水上バス 比叡山鉄道 樟葉パブリック・ゴルフ・コース 比叡山自動車道
ガーデンミュージアム比叡 (その他) 大阪マーチャндаイズ・マート 京阪ビジネスマネジメント 京阪カード ビオ・マーケット ボカラ ビオ・ファーム はちけんや